

事業評価シート

資料1-2

＜事業内容＞

No.	1	担当課名
担当課	食のまちづくり推進課	
名称	館山市食のまちづくり拠点施設整備事業	
目的	民間事業者のノウハウやアイデアを活用し、館山市稲地区に「食のまちづくり拠点施設」を整備し、この施設を中心に、官民連携により、下記の取組を展開していく。 ①体験メニューや貸農園などによる館山市の農業や食に関する情報発信 ②日般消費者や地域の飲食店等への鮮度の良い地域農産物の販売 ③館山産の農産物を使用した料理や加工品メニューの開発・提供 これらにより、館山市の農水産業を力強い産業へと押し上げるとともに、地域経済そのものを発展させ、新たな仕事の創出や関係人口の増加につなげていく。 ※交付金対象事業は、施設整備に係る施工費相当分のみ。	
事業概要	詳細事業名	・館山市産の農産物に対する理解（関心度）の向上
	当施設に出荷する生産者取材し情報発信をするとともに、消費者が収穫や調理など、農作業や新鮮な農産物に直接触れて食の魅力を感じる体験イベントを実施し、地域の農産物への理解（関心度）を高めた。	
期間	令和5年4月 ～ 令和5年12月	

＜事業に関する経費＞

計画事業費	357,782,000 円	執行（実績）額	357,779,817 円
		交付金充当額	178,889,488 円

＜総合戦略での位置づけ＞

基本目標	“食”の豊かさで人をひきつける ～食の豊かさアップ～
目指す方向性（政策分野）	館山市の特性を活かした多様な「しごと」の創出、館山市への「ひと」の流れをつくる
講ずべき施策	「食のまちづくり」による農水産業の魅力向上

＜本事業における重要業績評価指標（KPI）＞

K P I		事業開始前 （R2年度） ※基準値	R4年度 （1年目）	R5年度 （2年目）	R6年度 （3年目）	R7年度 （4年目）	R8年度 （5年目）	合計
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値 達成率	実績値 達成率	実績値 達成率	実績値 達成率	実績値 達成率	実績値 達成率
1	食のまちづくり拠点施設の入込客数 【単位：万人】	0	0	4	30	35	40	109
				6	24			30
				150.0%	79.3%	0.0%	0.0%	27.3%
2	地域における農産物等の販売額（地域の農産物直売所における販売額） 【単位：千円】	273.191	0	27,040	175,940	190,325	205,429	598,734
				108,726	287,893			396,619
				402.1%	163.6%	0.0%	0.0%	66.2%
3	食のまちづくりの推進を通じた農産物等を使用した加工品の新商品開発 【単位：商品】	0	0	5	10	10	10	35
				9	9			18
				180.0%	90.0%	0.0%	0.0%	51.4%
4	食のまちづくりの推進を通じた起業等による新規雇用者数 【単位：人】	0	0	0	10	15	20	45
				0	1			1
				#DIV/0!	10.0%	0.0%	0.0%	2.2%

[illegible]

トウモロコシ



早朝収穫作業をする田沼さん＝鷺山

道の駅グリーンファーム館山
野菜通信

① トウモロコシ

[illegible]

<実績値等を踏まえた事業の評価>

- ・ 非常に有効であった

【理由・説明】

食のまちづくり拠点施設の開業に多くの関心が寄せられ、館山市の食の魅力を多くの人に伝えることができた。特に体験イベントは好評で、食の魅力をダイレクトに伝えることができると同時に、多彩なイベントを行うことでリピート率向上にもつながった。農業者の取材や農産物の情報発信を通じて農業や農水産物の理解（関心度）が向上し、地域の農産物等の販売額の増加につながった。

<実績値等を踏まえた今後の方針>

- ・ 事業の継続

【理由・説明】

「食のまちづくり」の推進に取り組む上で、地域の農産物に対する理解（関心度）の向上はその基礎となるものである。地域の農産物や生産者への理解度を向上させることで、販売力向上、地産地消推進、生産者のモチベーション向上、ひいては新規就農者の増加といった効果が期待できる。また、整備されたハウスや農園を活用し、新規就農につながる取組を行い、担い手育成を図る。

<戦略の見直し等の必要性>

特になし

事業評価シート

資料1-2

＜事業内容＞

No.	2	担当課名
担当課	食のまちづくり推進課	
名称	館山市食のまちづくり拠点施設整備事業	
目的	民間事業者のノウハウやアイデアを活用し、館山市稲地区に「食のまちづくり拠点施設」を整備し、この施設を中心に、官民連携により、下記の取組を展開していく。 ①体験メニューや貸農園などによる館山市の農業や食に関する情報発信 ②日般消費者や地域の飲食店等への鮮度の良い地域農産物の販売 ③館山産の農産物を使用した料理や加工品メニューの開発・提供 これらにより、館山市の農水産業を力強い産業へと押し上げるとともに、地域経済そのものを発展させ、新たな仕事の創出や関係人口の増加につなげていく。 ※交付金対象事業は、施設整備に係る施工費相当分のみ。	
事業概要	詳細事業名 鮮度の良い農産物を提供できる地域内流通システムの構築	
	地域内流通の実証実験として、ソーシャルメディアを活用して、登録した飲食店に農産物の出荷情報をリアルタイムで配信し、地元農産物の利用のきっかけとするとともに、地産地消の取組を行う店舗としてPRの協力を行い、地産地消や地域内流通の推進を行った。	
期間	令和5年4月 ～ 令和5年12月	

＜事業に関する経費＞

計画事業費	357,782,000 円	執行（実績）額	357,779,817 円
		交付金充当額	178,889,488 円

＜総合戦略での位置づけ＞

基本目標	“食”の豊かさで人をひきつける ～食の豊かさアップ～
目指す方向性（政策分野）	館山市の特性を活かした多様な「しごと」の創出、館山市への「ひと」の流れをつくる
講ずべき施策	「食のまちづくり」による農水産業の魅力向上

＜本事業における重要業績評価指標（KPI）＞

KPI		事業開始前（R2年度） ※基準値	R4年度（1年目）	R5年度（2年目）	R6年度（3年目）	R7年度（4年目）	R8年度（5年目）	合計
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
			達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
1	食のまちづくり拠点施設の入込客数 【単位：万人】	0	0	4	30	35	40	109
				6	24			30
				150.0%	79.3%	0.0%	0.0%	27.3%
2	地域における農産物等の販売額（地域の農産物直売所における販売額） 【単位：千円】	273,191	0	27,040	175,940	190,325	205,429	598,734
				108,726	287,893			396,619
				402.1%	163.6%	0.0%	0.0%	66.2%
3	食のまちづくりの推進を通じた農産物等を使用した加工品の新商品開発 【単位：商品】	0	0	5	10	10	10	35
				9	9			18
				180.0%	90.0%	0.0%	0.0%	51.4%
4	食のまちづくりの推進を通じた起業等による新規雇用者数 【単位：人】	0	0	0	10	15	20	45
				0	1			1
				#DIV/0!	10.0%	0.0%	0.0%	2.2%

・ソーシャルメディアを活用して、登録した飲食店へ、その日の出荷情報をリアルタイムで配信する実証実験を実施した。生産におけるこだわりなども紹介した。また、販売した農産物が使われている店舗やメニューを売り場で紹介し、飲食店のPRも行った。



<実績値等を踏まえた事業の評価>

- ・ある程度有効であった

【理由・説明】

実証期間終了後のアンケートによると、ソーシャルメディアを活用したリアルタイムでの出荷情報の配信は、農産物の情報を得られることは良いが、メニューが決まっている飲食店を対象とするには安定供給に課題があるとの回答が多数だった。また、情報配信が飲食店での農産物の活用のきっかけになるが、飲食店での地域内流通を進めるためには、店舗までの配送が課題との意見があり、実際の活用につなげるためには引き続き課題があることがわかった。

<実績値等を踏まえた今後の方針>

- ・事業の継続

【理由・説明】

令和7年度はソーシャルメディアを活用した情報配信を一般消費者向けに切り替えて継続し、ニーズが合う飲食店には引き続き利用してもらうことで、地産地消を推進する。配送の課題は、飲食店と農業者とのマッチング会を実施し、ニーズや実施可能な手段を探っていく。

<戦略の見直し等の必要性>

特になし

事業評価シート

資料1-2

<事業内容>

No.	3	担当課名
担当課	食のまちづくり推進課	
名 称	館山市食のまちづくり拠点施設整備事業	
目 的	民間事業者のノウハウやアイデアを活用し、館山市稲地区に「食のまちづくり拠点施設」を整備し、この施設を中心に、官民連携により、下記の取組を展開していく。 ①体験メニューや貸農園などによる館山市の農業や食に関する情報発信 ②一般消費者や地域の飲食店等への鮮度の良い地域農産物の販売 ③館山産の農産物を使用した料理や加工品メニューの開発・提供 これらにより、館山市の農水産業を力強い産業へと押し上げるとともに、地域経済そのものを発展させ、新たな仕事の創出や関係人口の増加につなげていく。 ※交付金対象事業は、施設整備に係る施工費相当分のみ。	
事業概要	詳細事業名 ・飲食・加工品メニューへの活用を促進	
	道の駅でもある食のまちづくり拠点施設として、その販売力と集客力が評価され、地元農水産物を活用した加工品が数多く開発された。また、令和5年度までに市の補助事業を活用して開発された地元農水産物を使った加工品のPR・販売会を行い、商品の認知度向上を図った。 館山市の郷土料理が期間限定で商品化されたため、道の駅で販売し、地域の食文化の普及を図った。 館山クッキング大使による地域の農産物を使ったレシピを作り発信することで、新たな飲食・加工品メニュー開発のきっかけ作りを行った。	
期 間	令和5年4月 ～ 令和5年12月	

<事業に関する経費>

計画事業費	357,782,000 円	執行（実績）額	357,779,817 円
		交付金充当額	178,889,488 円

<総合戦略での位置づけ>

基本目標	“食”の豊かさで人をひきつける ～食の豊かさアップ～
目指す方向性（政策分野）	館山市の特性を活かした多様な「しごと」の創出、館山市への「ひと」の流れをつくる
講ずべき施策	「食のまちづくり」による農水産業の魅力向上

<本事業における重要業績評価指標（KPI）>

K P I		事業開始前 (R2年度)	R4年度 (1年目)	R5年度 (2年目)	R6年度 (3年目)	R7年度 (4年目)	R8年度 (5年目)	合計
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
			達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
1	食のまちづくり拠点施設の入込客数 【単位：万人】	0	0	4	30	35	40	109
				6	24			30
				150.0%	79.3%	0.0%	0.0%	27.3%
2	地域における農産物等の販売額（地域の農産物直売所における販売額） 【単位：千円】	273.191	0	27,040	175,940	190,325	205,429	598,734
				108,726	287,893			396,619
				402.1%	163.6%	0.0%	0.0%	66.2%
3	食のまちづくりの推進を通じた農産物等を使用した加工品の新商品開発 【単位：商品】	0	0	5	10	10	10	35
				9	9			18
				180.0%	90.0%	0.0%	0.0%	51.4%
4	食のまちづくりの推進を通じた起業等による新規雇用者数 【単位：人】	0	0	0	10	15	20	45
				0	1			1
				#DIV/0!	10.0%	0.0%	0.0%	2.2%

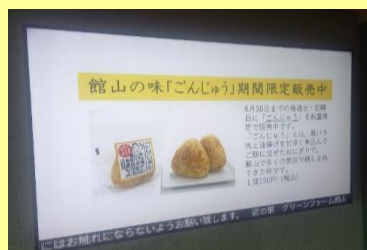
- ・地元の農産物を活用した加工品が新たに開発された。



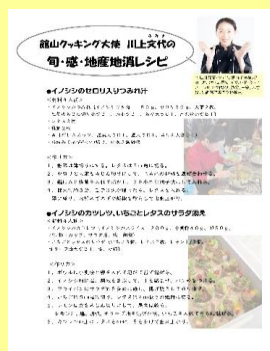
- ・市の補助事業を活用して開発された地元農水産物を使った加工品のＰＲ・販売会を拠点施設で実施し、商品の認知度向上を図った。



- ・館山市の郷土料理が期間限定で商品化されたため、道の駅で販売し、地域の食文化の普及を図った。



- ・館山クッキング大使に地元農産物を活用したレシピを開発してもらい、市のホームページやSNSで紹介するとともに、拠点施設でライブキッチンを行った。



＜実績値等を踏まえた事業の評価＞

- ・ 非常に有効であった

【理由・説明】

目標値には届かなかったものの、拠点施設開業により販路が確保されたことにより、農業者による6次産業化商品や、地域の事業者による食のまちづくり拠点施設限定の加工品、施設の運営事業者によるプライベートブランド商品などが開発された。一昨年開発された商品のPR販売会を開催し、開発された商品の認知度向上の支援を行い、商品開発のモチベーションの継続を図った。また、地域の郷土料理を商品化したおにぎりも販売され、地域の食の魅力アップにつながった。

＜実績値等を踏まえた今後の方針＞

- ・ 事業の継続

【理由・説明】

地域の食資源を活用した加工品や飲食メニューが増えることで、地域の食の魅力アップにつながる。令和7年度はブランド認定制度の取組を強化し、品質の良い品のPR支援を積極的に行うことで、加工品開発の機運を高め、農水産物の活用を推進する。また、郷土料理の調理体験や、クッキング大使のレシピの普及などにより、商品開発のきっかけや参考としてもらう取組も引き続き行っていく。

＜戦略の見直し等の必要性＞

特になし